

鴨川沿岸の 現状について



※鴨川沿岸(仮称):

鴨川漁港(弁天島)、前原横渚海岸、東条・広場東海岸、浜藪2号海岸、浜藪漁港(葛ヶ崎)までを含む、ポケットビーチの便宜上の名称です。

2003/11/16

1

1. 「海岸づくり会議」の主旨①

● 海岸中央部で越波災害が発生

背後地の浸水被害

(シーワールド、周辺ホテル等)

護岸の被災

(防災上の問題、海浜利用が出来ない等)

● 前原海岸でも汀線が後退

海浜変形によって起きた
ポケットビーチ内での

2003/11/16

2

1. 「海岸づくり会議」の主旨②

● 課題解決のためには...

① 海岸の現状を正しく理解する

越波や侵食の要因
海岸の履歴、背景
海岸の環境、利用

専門家が
主に分析

A: 地域の方々
からの情報

② どのように継承して行くか？

望ましい海岸の姿・環境・利用は？
メンテナンスの方法は？

B: 地域の描く
将来像

行政・専門家が
立案・修正

相互理解

C: 納得できるか？
別の提案など

「海岸づくり会議」で議論

2003/11/16

3

1. 「海岸づくり会議」の主旨③ 1-4

< 海岸の現状を正しく理解するために... >

本日(午前中) : 現地踏査の様子

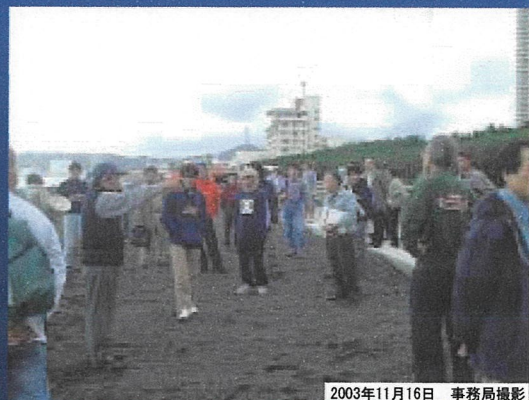


2003年11月16日 事務局撮影

鴨川フィッシャリーナにて

2003/11/16

(旧)望洋荘前の海岸にて

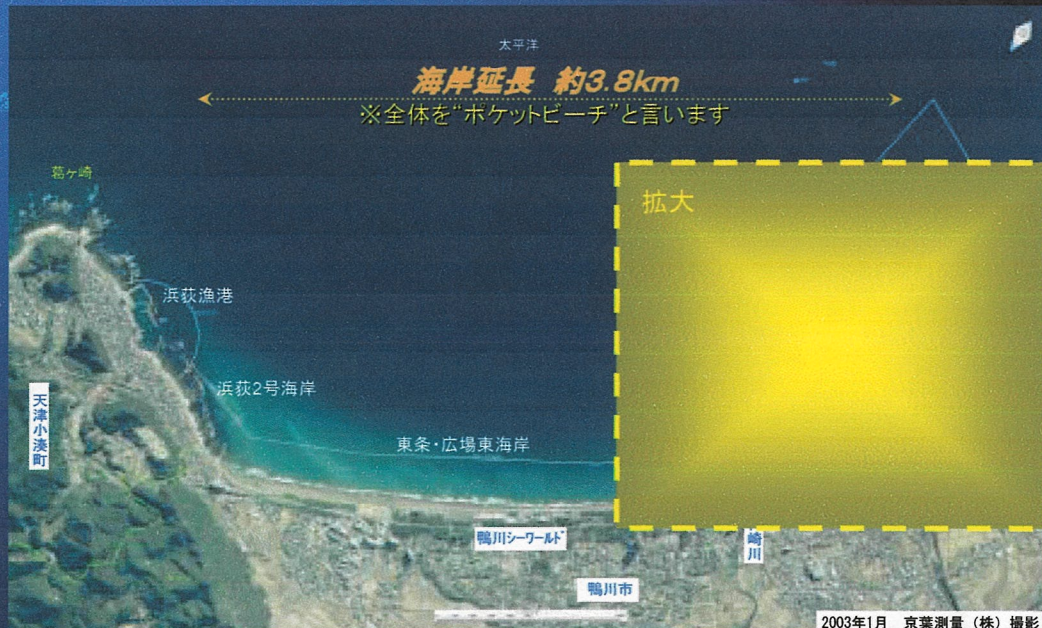


2003年11月16日 事務局撮影

4

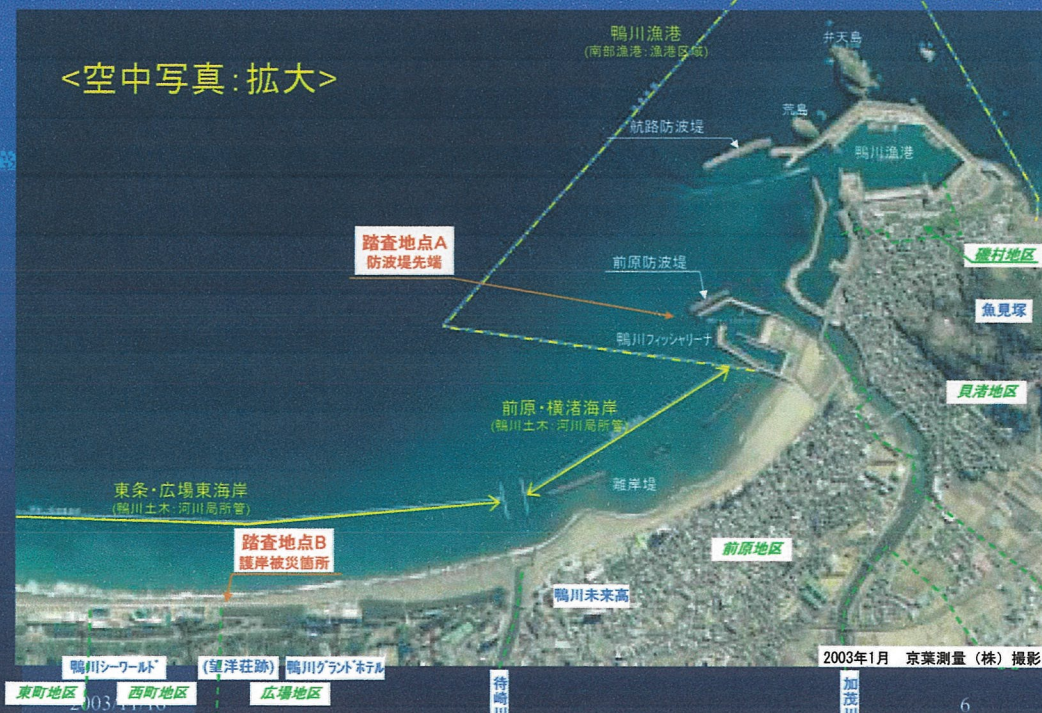
2. 鴨川沿岸の概要

1-5



<空中写真:拡大>

1-6

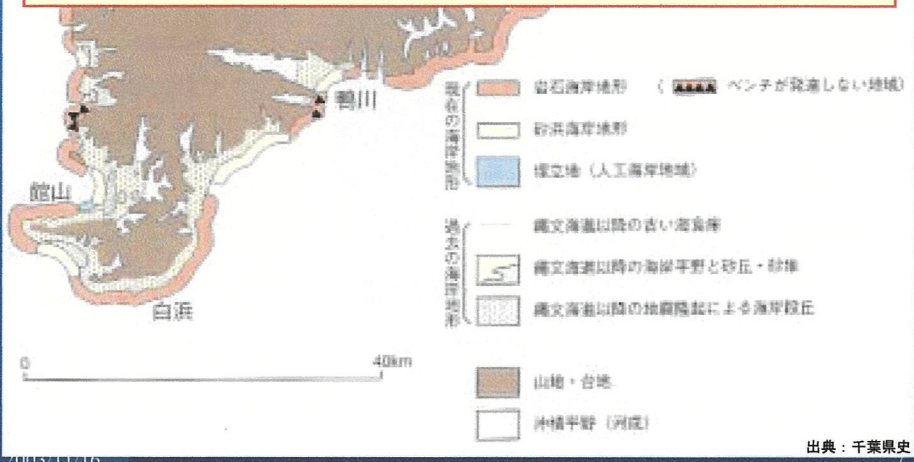


3. 昔の海岸は. . . <鴨川の成り立ち>

※ 縄文海進以降の地震隆起 → 海岸段丘を形成
(=元来、侵食性ではない)

(隆起量 = 元禄地震1703年: +2.0m
大正地震1923年: +0.8m)

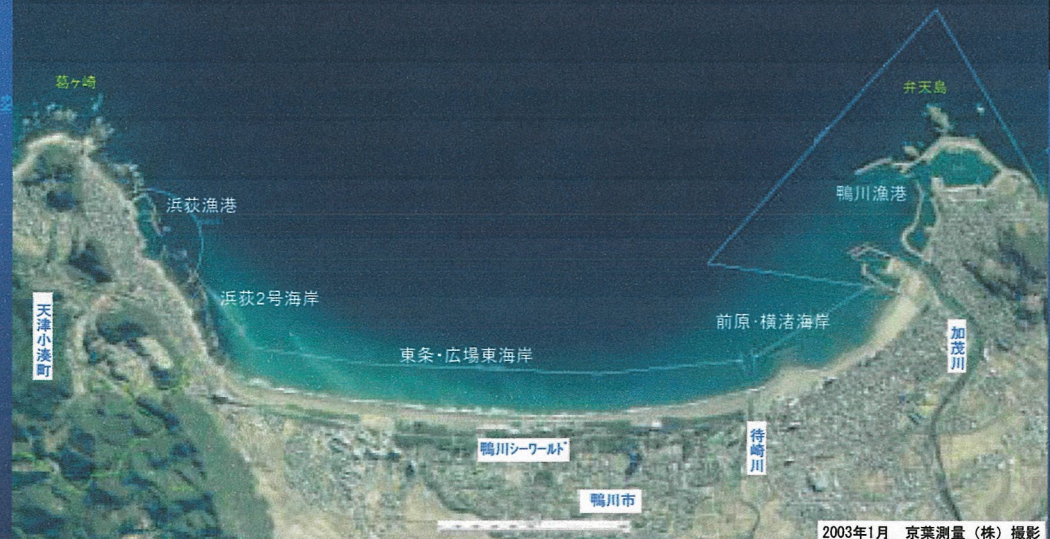
※ 海岸段丘の背後(鴨川低地)に、崩壊土砂等が堆積



2003/11/16

出典：千葉県史

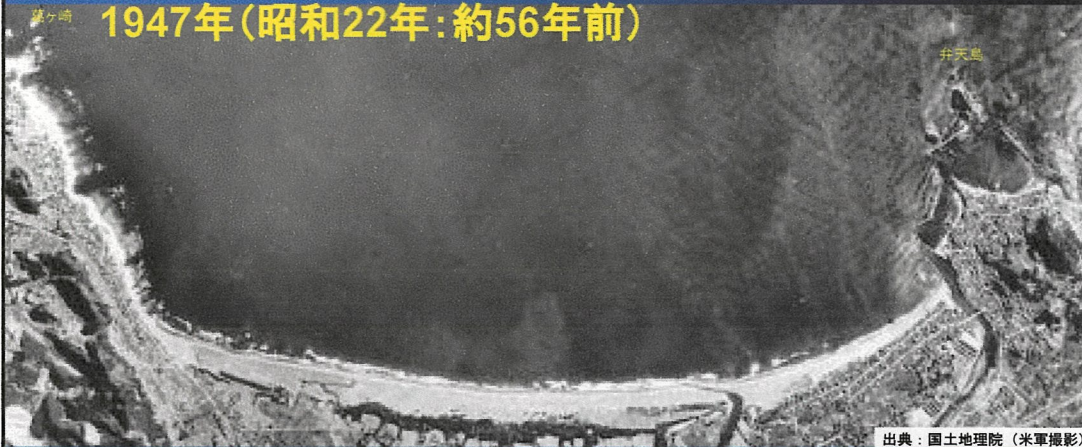
空中写真で見る鴨川沿岸の変遷



2003/11/16

4. 海岸の現状(空中写真-1)

1947年(昭和22年:約56年前)

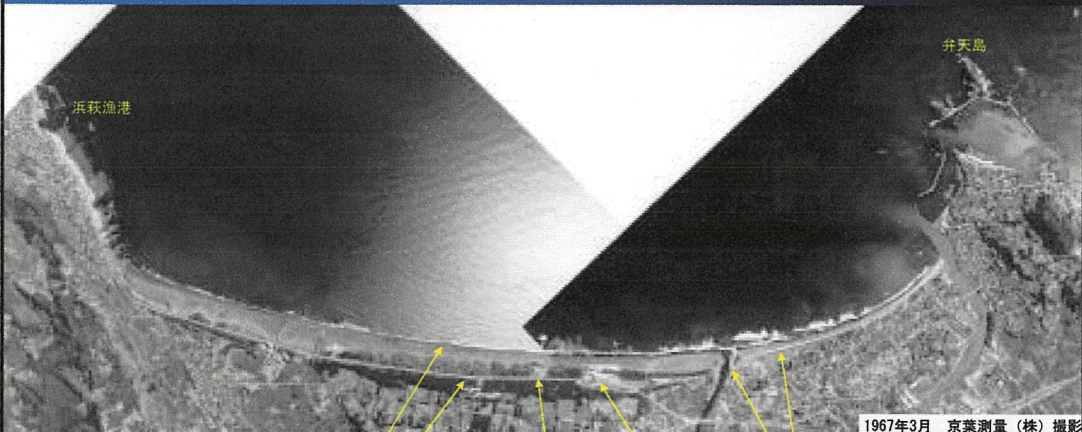


出典: 国土地理院(米軍撮影)

終戦直後(関東大地震から24年後)
= 保安林、国道、海岸施設等はない

4. 海岸の現状(空中写真-2)

1967年(昭和42年:約36年前)



1967年3月 京葉測量(株)撮影

保安林の造成
 国道の建設
 望洋荘
 鴨川グランドホテル
 前原海岸の護岸
 待崎川の導流堤

4. 海岸の現状(空中写真-3)

1983年(昭和58年:約20年前)

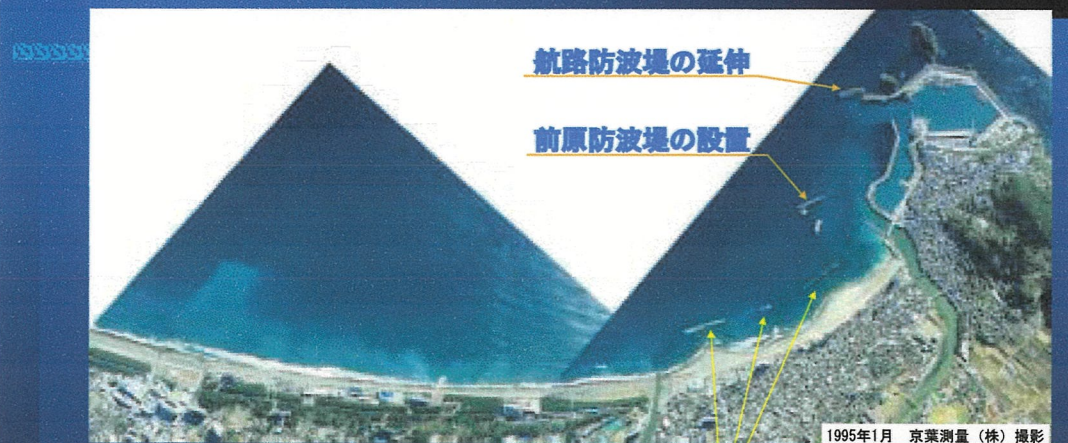


鴨川シーワールド

漁港航路防波場の延長

4. 海岸の変遷(空中写真-4)

1995年(平成7年:約8年前)



航路防波場の延伸

前原防波場の設置

前原海岸 離岸堤の設置

4. 海岸の変遷(空中写真-5)

1997年(平成9年:約6年前)

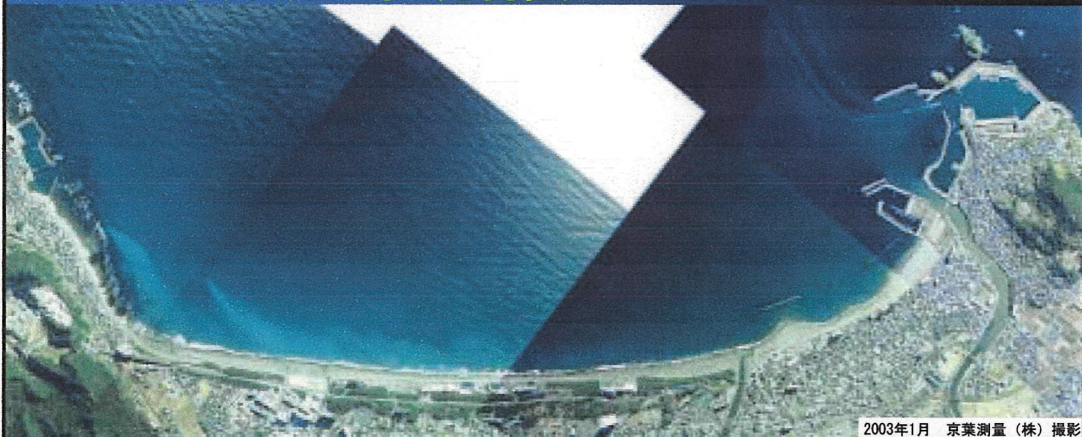


1997年1月 京葉測量(株)撮影

鴨川フィッシャーナの新設が進む

4. 海岸の変遷(空中写真-6)

2003年(平成15年1月現在)



2003年1月 京葉測量(株)撮影

(最新の空中写真)